

令和6年度第1回周南市ごみ対策推進審議会議事録

1. 日 時	令和6年6月5日（水曜日） 10時30分～11時45分
2. 場 所	周南市徳山保健センター 1階 健診ホール
3. 出席者	（委員17人） 赤木 真由、池田 光優、佐守 広志、西 俊明、船井 辰朗、山崎 信枝、 加藤 洋、磯村 孝、山本 瀧雄、小田 和則、小松原 美佐子、鎌田 昌 子、山本 明子、有國 美恵子、住谷 博志、千葉 浩之、高尾 典子 （事務局5人） （傍聴者0人）
4. 議 事	第3次周南市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定について
5. その他	今後の基本計画の策定スケジュールについて

- 開会
- 会議成立の報告（出席委員17名、欠席委員1名）
- 市長挨拶
- 委員の紹介
- 事務局の紹介
- 会長・副会長の選出
- 会長挨拶
- 副会長挨拶

○ 議事

第3次周南市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定について

（事務局）

別添資料「周南市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の概要と取り組み状況について」を基に、現計画の概要と市のごみ処理に係る取り組みの状況について説明。

（議長）

事務局から、議事について説明がありました。ご意見・ご質問はありますか？

（委員）

この10年間は、コロナウイルス等の社会情勢の変化が、ごみ処理の問題にも大きな影響を与えたと言えますが、次の10年間の計画は、そのような社会情勢の影響を考慮したものとするのでしょうか？

(事務局)

この10年間で、ごみの状況も変化しています。例えば、リチウムイオン電池を含む商品が多く生産されるようになりました。これらをごみとして出すときには、中の電池を取り出し、別途処分しなければなりません、その電池が外国製のものであった場合のリサイクルルートが確立されておられません。

また、プラスチックのリサイクル方法については、サーマルリサイクルからケミカルリサイクルへ転換していかなければならないという課題があります。

食品残渣についても、水切りを徹底するなどの対策の外、食べ残しや手付かず食品に対しての対応も重要ですので、個別の施策を掲げて、積極的に取り組む必要があると考えています。

(委員)

市のリサイクル率は平成27年度に急激に低下しており、これは、ごみ燃料化施設の廃止が大きく影響しているところだと思われます。今後、リサイクル率を上昇させるために、同様の施設を整備する計画はありますか？

(事務局)

ご指摘のとおり、燃やせるごみから固形燃料(RDF)を製造しておりました「フェニックス」において、RDFの製造を止めたことが、リサイクル率に大きく影響しております。今後、同種の機能を持つ施設を新たに整備する計画はないため、燃やせるごみをリサイクルすることはできませんが、ごみを適切に分別し適正な処理を行うことでリサイクル率を上昇させていきたいと考えております。

(委員)

人口減少によりごみの総量は減少傾向にありますが、個人の排出するごみの量は重要な指標です。このことを、各個人で意識し行動する必要がありますが、第3次計画の中で優先的に取り組むべき課題はどのようなもののでしょうか？

(事務局)

現状として、食品残渣(生ごみ)の減量化を促進するために、生ごみ処理機器(コンポストなど)の購入費を補助する制度がありますし、ダンボールコンポストの講座も開催しています。また、再資源化を促進するために、地域で行われている資源物回収の実績に応じた報奨金を交付する制度があります。このような制度の周知を図りつつ、新たな課題として、プラスチックごみの問題や、食品ロスの問題については、個別の対策を講じ、取り組んでいく必要があります。これらの取り組みに関する情報については、地域の方々に届くように、しっかり啓発に努めてまいります。

(委員)

先の説明にあったように、市はコンポスト等の利用促進に取り組んでいるようですが、生ごみを土に返す「田舎の暮らし」は、まさに循環型社会の見本ですので、このようなライフスタイルを見直してみてはどうでしょうか？

(事務局)

市では、補助制度や講座の実施によって、コンポスト等の利用を促進していますが、これらのコンポストによって作られた堆肥を有効活用できるしくみについては、今後の課題として認識しております。

(委員)

生ごみ処理機器によって作られた堆肥を回すしくみが必要ではないでしょうか？市の他課の取り組みで、街路樹の選定枝等を、堆肥化し活用するという事業がありました。生ごみについても、同じようなしくみを検討してはどうでしょうか？

(事務局)

堆肥を必要とする方へ渡し活用する方法等について、今後、研究してまいります。

(委員)

資源物の量について、市が回収する部分のみの数量で、市以外の民間事業者が回収する部分が含まれていないのであれば、市全体の回収量とは言えないのではないのでしょうか？再資源化を促進するための資源物回収報奨金も良いですが、スーパーマーケット等で行われている資源物の店頭回収や、民間事業者の設置するリサイクルボックスが、市民にとって利用しやすいのであれば、これらの利用を促進していくことも良いことだと思います。

(事務局)

民間事業者が回収する資源物の量は、市では把握できないため、計画上の資源物量に含めることはできませんが、市民・行政・民間事業者が一丸となって、リサイクルを推進していきたいと考えております。

(委員)

資料の作成方法について、例えば、リサイクル率のグラフにおいて、大きく変動があった部分については、その要因を解説するような分かりやすいものとしてください。

ごみの数値について、計画策定年度である令和6年度の実績数量は、数値が年度内には確定しないため、前年度の令和5年度までのごみの量を計画策定の参考とするようになりますか？

(事務局)

今後、ご指摘のとおり、分かりやすい資料を作成するよう努めます。

また、ごみの数量データは、ご確認のとおり、令和5年度までのものを計画策定の参考とします。

(委員)

市のイベントで発生するごみは、分別がきちんとされていませんが、イベントに

において、分別に合わせたごみ箱を種類ごとに設置し、ごみの分別の指導員を配置するなどして、ごみ分別の啓発を行うべきではないでしょうか？

(委員)

イベントを主催する立場として、できる限りの対応は行っています。徳山夏祭りでは、ごみ箱は複数種類（可燃、不燃、びん、缶、食べ残し等）を設置しています。この外に、露店商の方で設置されるものもあります。イベントには多くの人が集まり、スペースが限られている状況です。また、分別指導員を配置することについては、予算や体制等において調整しなければならない課題が多くあります。

(委員)

地域コミュニティ主催の祭りにおいても、ごみ箱が種類ごとにあるにもかかわらず、分別がきちんとされていないごみがあります。そのようなごみは、最終的に、地域の人（コミュニティの役員等）で対応することになります。

(委員)

鹿野ふるさとまつりでは、地元の中学生ボランティアがごみの分別を手伝っていました。

(委員)

サンフェスタしんなんようでは、ごみに関しては、ボランティアによって、分別や清掃活動が実施されています。ボランティアの方々のご協力で、イベント後もきれいなまちの景観が保たれています。

(議長)

他にご意見・ご質問はありますか？

(委員)

(意見なし)

(議長)

この審議会において活発な意見が出たように、市民のごみに関する意見を計画策定の参考とするために、ワークショップ等を企画してはどうでしょうか？

(事務局)

市民の声を聴く方法について検討し、計画策定の段階で市民の意見を取り入れる工夫を加えていきたいと思えます。

○ その他

今後の基本計画の策定スケジュールについて

(事務局)

別添資料「令和 6（2024）年度周南市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画策定スケ

ジュール」を基に、今後の予定について説明。

(議長)

事務局から、その他について説明がありました。ご意見・ご質問はありますか。

(委員)

今後、計画の策定にあたり、市民の意見を取り入れるために、市民アンケート等を実施してはどうですか？

(事務局)

市民の声を反映させるために、先ほどワークショップのご提案もありましたが、市民アンケートや周南公立大学と連携した取り組みなど、様々な方法を検討してまいります。

(委員)

今後、審議会の資料は事前に配付するようにお願いします。事前に内容を確認し、審議会に出席したほうが、議論が深まると思います。

(事務局)

今後、審議会開催日の二週間前までに、資料を事前配付いたします。

(議長)

他にご意見・ご質問はありますか？

(委員)

(意見なし)

○ 閉会